

東大先端研フェス～居心地がよく歩きたくなるまちなかづくり

◆ イベント概要

本市は、令和4年に東京大学先端科学技術研究センターと連携協定を締結し、研究交流、産学官連携、人材育成などを通じて、まちづくりのさらなる推進を目指しています。その取り組みの一環として令和8年度にオープンする（仮称）史跡長久手古戦場ガイダンス施設への人の流れを念頭に、東大先端研の先生をお招きし「居心地がよく、歩きたくなるまちなかづくり」をテーマにした「東大先端研フェス」を開催します。

◆ 東大先端研とは

東京大学先端科学技術研究センター（東大先端研）は、1987年の設立以来、学術の発展と社会の変化から生じる新たな課題へ挑戦し続け、新領域を開拓することによって科学技術の発展に貢献することを使命としています。先端研の最大の特徴は研究者や研究分野の多様性にあり、40にのぼる専門分野・部門名を冠した研究室が、理工系の先端研究と、社会科学やバリアフリーという社会システムに関わる研究を、基礎から応用、社会へと広範な領域で展開しています。

◆ 講師

近藤 早映

三重大学大学院工学研究科
建築学専攻 准教授
東京大学先端科学技術研究
センター地域社会システム
工学分野 准教授



東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)、一級建築士。地方都市の未来を再創造することを目的に、人々の感性に寄り添いながら、社会全体のシステムの未来を考える研究に邁進中。主な研究テーマは、協働や交流の公共空間や市民拠点の在り方、にぎわい創出理論、保育施設とまち、「リビングラボ」における共創理論とスキーム、空き家発生抑制など。

◆ 講師

大澤 幸生

東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻
東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻
(兼任)



1995年に東京大学工学研究科で工学博士を取得後、大阪大学基礎工学研究科助手、筑波大学ビジネス科学研究科助教授、科学技術振興事業団(現・科学技術振興機構)研究員、東京大学情報理工学研究所特任助教授、同大学院工学系研究科システム量子工学専攻助教授、同システム創成学専攻の准教授を経て、2009年7月より同教授。知能情報学とデザイン学、認知科学の境界にあるチャンス発見学およびデータ市場設計学を自ら創始した。このテーマでは『チャンス発見のデータ分析』『ビジネスチャンス発見の技術』を含む編著書30余件のほか、論文、産学両界での招待講演多数。

◆ 講師

西成 活裕

東京大学大学院工学系
研究科 教授
東京大学先端科学技術
研究センター 教授



東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。様々な渋滞を分野横断的に研究する「渋滞学」を提唱し、著書「渋滞学」(新潮選書)は講談社科学出版賞などを受賞。2021年イグ・ノーベル賞受賞。国交省、経産省、文科省などの有識者委員も多数務めている。日本テレビ「世界一受けたい授業」に多数回出演するなど、多くのテレビ、ラジオ、新聞などのメディアでも活躍している。

◆ トークセッションモデレーター

吉村 輝彦

日本福祉大学
国際学部国際学科 教授
大学院 国際社会開発研究科長
地域連携推進機構長



専門は、参加型まちづくり、まちづくりファシリテーション、地域マネジメント、福祉社会開発、国際開発。東京工業大学工学部社会工学科卒業・同大学院博士後期課程修了、博士(工学)。国際連合地域開発センター(UNCRD)研究員を経て、平成18年4月より日本福祉大学へ、平成25年より現職。対話や交流の「場」と「縁」のデザインとマネジメントを通じたコミュニティづくり、プレイスメイキングやエリアマネジメント等を通じた創発的まちづくりや地域マネジメントに関心を持つ。長久手市、東海市、知多市、安城市、名古屋市他で、動きを作っていく実践的な取り組みや研究活動を行う。

◆ お申し込み方法



左のQRコードから専用申込フォームを開き、必要事項をご記入のうえお申込みください。

◆ 問い合わせ先

長久手市企画政策課 担当千葉、長江

電話：0561-56-0600(直通)

E-mail: seisaku@nagakute.aichi.jp